

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	3-3-2	4-2-4	事業名	2007年FISノルディックスキー世界選手権関連施設整備事業 (2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会の開催)
担当	観光文化局スポーツ部施設課 松里 211-3045			
全体計画（当初）				
事業内容	国際水準に対応した競技場を維持するため、ルール変更などに対応する改修を行う。 ・白旗山競技場改修 ・宮の森ジャンプ競技場改修		＜年度別の事業内容＞	
			・16年度 白旗山競技場スキーコース測量調査設計 宮の森ジャンプ競技場改修計画調査(実施設計) ・17年度(一期工事～公認取得) 白旗山競技場改修工事 宮の森ジャンプ競技場改修工事 ・18年度(二期工事) 白旗山・宮の森両競技場附帯設備の改修	
事業内容 (量・場所・規模等)	平成16年度事業内容(決算)		平成17年度事業内容(決算)	
	白旗山競技場 実施設計 動植物生態に関する環境調査  宮の森ジャンプ競技場 実施設計		白旗山競技場 改修工事(クロスカントリースキーコース改修)  宮の森ジャンプ競技場 改修工事(ジャンプ台本体改修)  両競技場とも根幹部分の改修を行い、プレ大会を開催。 FIS(国際スキー連盟)の公認を取得した。	
事業内容 (量・場所・規模等)	平成18年度事業内容(決算)		評価(成果)	
	白旗山競技場 駐車場拡幅工事 場内整備工事 附帯設備改修 旧コース森林復元等  宮の森ジャンプ競技場 観覧席改修 電光掲示板改修 歩道整備等  大倉山ジャンプ競技場 電光掲示板改修 放送設備改修等		FISの公認を取得し、引き続き国際水準の大会やトップレベルの練習を行う場として対応できる施設となり、19年2月22日～3月4日に2007年FISノルディックスキー世界選手権を開催した。	
			課題	
			白旗山都市環境林および白旗山競技場の18年度より使用しないコースについては、18年度以降森林復元に着手する。	
19年度以降の方向性・事業の予定				
各施設を供用し続けるための整備が必要である。 白旗山都市環境林及び白旗山競技場の18年度より使用しないコースについては、18年度以降森林復元を実施していく。				

新まちづくり計画 ( H16 ~ 18 ) 事業総括調書 (単位:千円)

施策体系コード	3-3-2	4-2-4	事業名	2007年FISノルディックスキー世界選手権関連施設整備事業 (2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会の開催)
---------	-------	-------	-----	---

事業費の推移

項目	16年度	17年度	18年度	計	進捗率(%)		
計画	事業費	33,000	786,000	705,000	1,524,000	-	
	財源内訳	国・道支出金			0	-	
		市債		524,000	542,000	1,066,000	-
		その他一般財源	33,000	262,000	163,000	458,000	-
実績	事業費	44,629	783,227	389,238	1,217,094	79.9	
	財源内訳	国・道支出金	0	100,000	0	100,000	-
		市債	0	456,000	159,000	615,000	-
		その他一般財源	0	73,471	54,227	127,698	-
実績計	44,629	153,756	176,011	374,396	-		

計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)

[全体][16年度][17年度][18年度]  
 白旗山競技場スキーコースの森林復元については、経過をみながらの継続的な取り組みが必要となるため、18年度の事業内容を一部先送りした。また、宮の森ジャンプ競技場のランディングバーン整備に使用する圧雪車については、当初購入を考えていたが、リースでの対応となるため、18年度の事業費が減となった。

主な施設、サービス等の整備水準

項目	15年度末(現状)	16年度末(実績)	17年度末(実績)	18年度末(実績)	18年度末(目標)

関連予算事業内訳

予算事業名(小事業名)	経臨	枠内外	16年度	17年度	18年度	計
2007年FISノルディックスキー世界選手権札幌大会関連施設整備費	臨時	枠外	44,629	783,227	389,238	1,217,094
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
						0
計			44,629	783,227	389,238	1,217,094